

## 植物園開園60周年記念フィールドワーク 第3弾



### 植物園でタンポポを調べよう！



現在、日本中で外来タンポポの分布拡大が大きな問題になっています。例えば大阪市内では2010年の調査で95%が外来タンポポでした。それに対し2009年から2011年に実施された植物園内のタンポポ調査の結果では園内のタンポポの88%が在来の日本のタンポポでした。植物園は在来タンポポにとってサンクチュアリとなっていることがわかりました。調査を担当した伊東明先生を講師に迎え、春の植物園で一緒にタンポポを調べてみませんか？今年実施される「タンポポ調査・西日本2015」もご紹介します。あなたも調査員になったつもりで参加してみてください。

**講師：伊東明先生（大阪市立大学大学院理学研究科）**

**日時：2015年4月26日（日）13時から14時半（雨天は講義室でお話）**

**場所：大阪市立大学理学部附属植物園 園内と研究棟講義室**

**参加費：350円（入園料のみ・中学生以下無料）**

**定員：30名（先着順）**



#### 参加申込方法

☆はがき・FAX・メール・電話で (1)お名前、(2)住所、(3)電話番号、  
(4)差し支え無ければ職業または勤務先（任意）を下記宛お送りください。  
〒576-00004 大阪府交野市私市 2000 FAX 072-891-2101  
大阪市立大学理学部附属植物園「タンポポフィールドワーク」係  
☆メールの場合は件名を「タンポポフィールドワーク参加希望」として  
b-garden@sci.osaka-cu.ac.jp へ(1)～(4)をお送りください。

問い合わせ：大阪市立大学理学部附属植物園・佐々木 電話 072-891-2059

**主催：大阪市立大学理学部附属植物園・共催：都市と森の共生をめざす研究会  
国際植物の日 協賛企画**